

## 安芸市からの要望（水産振興部関係）の概要

- 1 日 時 平成26年7月31日（木） 14:15～14:30
- 2 場 所 水産振興部長室
- 3 安芸市：横山 幾夫市長、川島 洋一市議会議長 ほか  
県：松尾晋次水産振興部長 ほか

### 【要望】

#### ○穴内漁港海岸の整備について

- ・穴内漁港海岸を県管理海岸とし、西浜海岸と一体的な離岸堤として整備すること

#### ○たい地びき網漁業の漁船の規制緩和について

- ・経営の効率化のために、たい地びき網漁業の漁船の規制を機船船びき網漁業と同様に片船の馬力制限を撤廃するよう、取扱方針を変更すること

#### ○一本釣漁業における経営の安定対策について

- ・魚礁調査をもとに専門的な見地からの効果的な魚礁計画を策定すること

### 【回答】

#### ○穴内漁港海岸の整備について

- ・現在、人工リーフとして整備中であり、必要性を説明するためにも、完成後の効果検証が必要。それを見てからということになる。
- ・県管理海岸とすることについては、市管理の穴内漁港に県管理の安芸漁港のサテライト機能を持たして分区とすることも考えられるが、漁業者が減り、穴内漁港も利用が少ないという現状のなかでは難しい。

#### ○たい地びき網漁業の漁船の規制緩和について

- ・現場とも話をし、規制緩和に向けて動いている。漁業者の方々が一定ルールを作り、それを守ってやっていくということなので、そうした前提のもと、今年の12月から新たな枠組みでできるようにしたいと考えている。

#### ○一本釣漁業における経営の安定対策について

- ・平成16年度から、県が事業主体となる一定規模の大きな沈設型魚礁の設置は事業を休止している。その大きな要因は、なかなか費用対効果の説明がつかないこと。これまで整備した魚礁について調査を行い、今の設置状況、形式等々について、漁業者の方に情報提供を行っているので、積極的に活用して客観的な漁獲データをあげ、事業効果を説明していただきたい。
- ・小規模な沈設型魚礁など、費用対効果が明確なものについてまで否定しているわけではないので、費用対効果の説明がついて、リマ事業や種子島事業を利用して設置するということになれば、協力もさせていただきたい。